



本事業は、SDG s の「17 パートナーシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2025 年 4 月 9 日（水）
愛知県政策企画局国際課
国際戦略グループ
担当 野村、富田
内線 2448、2198
ダイヤル 052-954-6130

知事の米国渡航中の行事結果について

2025 年 4 月 8 日（火）午前、知事は米国ワシントン D C において、テネシー州選出のウィリアム・ハガティ上院議員、ノースカロライナ州選出のテッド・バッド上院議員と面談しました。また、午後には、テキサス州選出のテッド・クルーズ上院議員の補佐官であるプレストン・ハウィ国内政策顧問、ケンタッキー州選出のアンディ・バー下院議員の補佐官であるジャック・レイニク立法担当補佐官と面談しました。

1 ウィリアム・ハガティ上院議員との面談

（1）日時

2025 年 4 月 8 日（火）午前 10 時 30 分から午前 11 時まで

（日本時間 4 月 8 日（火）午後 11 時 30 分から 4 月 9 日（水）午前 0 時まで）

（2）場所

上院議員会館

（3）面談者

ウィリアム・ハガティ上院議員（テネシー州選出）

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

（5）内容

大村知事は、面談の冒頭にテネシー州選出のハガティ上院議員に対し、先日テネシー州において発生した豪雨及び暴風により、多くの犠牲者が出たことに対して哀悼の意を表するとともに、「1 日も早い復興をお祈り申し上げる。」と伝えました。

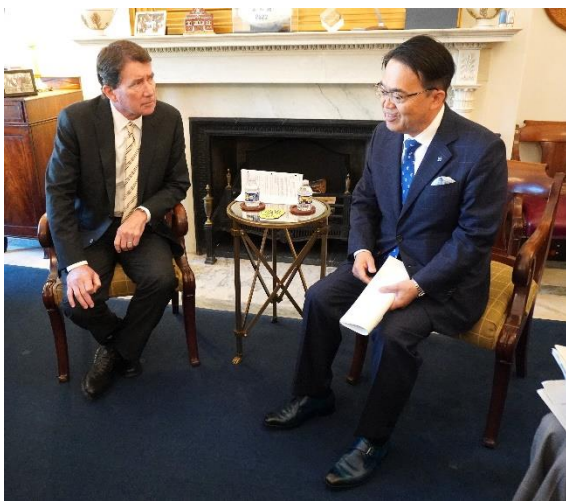
続けて大村知事は、「愛知県からは多くの企業が米国に進出しており、現在 490 社が米国各地で活発に事業活動を行っている。テネシー州にはトヨタ自動車やデンソーなど、多くの県内企業が進出しており、州経済や雇用創出に貢献している。」と話し、そうした中、24%の相互関税及び自動車と自動車部品の輸入に対する 25%の関税措置については、「日米の良好な経済関係に大きな影響を及ぼす恐れがある。」と話しました。

これに対してハガティ上院議員から、「関税に関しては、政府間で協議が始まり強固な基盤を作るための準備が整ったと考えている。こうした協議の一番手には日本がおり、協議が前進していくことを期待している。また、対話の内容はもっと広範なもの

になるべきであり、貿易や投資に加えて、エネルギー安全保障などすべての側面を考えた対話になるべきである。現状日米の市場には相違点があるが、今後は日米の市場の調和のために、各種問題に取り組むべきであると考えている。」との発言がありました。

さらに、ハガティ上院議員から、「防衛産業において、日米間で更なる協業を進めていきたいと考えており、さらには、エネルギー安全保障に関してもアイデアがあり、LNG を含むエネルギーの米国内生産を増やし、日本を経由地として東南アジアへの輸出も増やすことで、日本の商社も活用することができる。」との発言に対し、大村知事は、「LNG に関しては、JERA がテキサス州フリーポートに LNG 基地を作り、日本や EU への輸出を行っている。また、防衛産業の重要性についても賛成である。愛知県は自動車産業のみならず航空機産業も日本一であり、航空機産業の発展は防衛産業に繋がるものであり、これらについても日米の協力は不可欠である。」と話しました。

さらに、大村知事は、「トヨタグループ全体で 649 億ドル以上の投資に加え、今後アメリカへの更なる投資を計画している。さらに、日本企業による 2023 年の対米投資額は、5 年連続で 1 位であり、雇用創出数は 2 番目に多い。トヨタグループを始めとする日本企業はテネシー州を含む多くの州で雇用に貢献しており、ハガティ上院議員にはテネシー州経済開発長官を務めていた時代から大変お世話になり感謝している。」と話すとともに、「日米同盟は世界で最も重要な二国間関係であり、アジア・太平洋の平和と安定、世界経済の発展・繁栄にとって重要な関係であり、今後、愛知県としても、さらに日米関係の発展に貢献していきたい。」と話し、引き続きの支援をお願いしたところ、ハガティ上院議員からは、「協力を惜しまない。」との発言がありました。



ハガティ上院議員との面談の様子



ハガティ上院議員と記念品交換

2 テッド・バッド上院議員との面談

(1) 日時

2025 年 4 月 8 日（火）午前 11 時 40 分から正午まで

（日本時間 4 月 9 日（水）午前 0 時 40 分から午前 1 時まで）

(2) 場所

上院議員会館

(3) 面談者

テッド・バッド上院議員（ノースカロライナ州選出）

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、ノースカロライナ州選出のバッド上院議員に、「愛知県からは、トヨタ自動車始め多くの企業がノースカロライナ州で投資を行い、雇用創出に貢献していることを大変うれしく思う。これからもトヨタ自動車を始めとした愛知県企業がノースカロライナ州への投資をさらに促進することで、愛知県とノースカロライナ州の関係を強くしていきたい。」と話しました。

さらに大村知事は、今回のアメリカ政府による関税措置、特に自動車及び自動車部品に対する 25%の追加関税について、「日米の経済関係に大きな影響を及ぼす恐れがある。」と話すとともに、「愛知県からはトヨタグループを中心に 490 社がアメリカに進出し、アメリカ、ノースカロライナ州で投資を行っている。トヨタ自動車はノースカロライナ州の HEV 用の車載用電池工場等に 140 億ドルもの投資を行っている。」と話しました。

これに対してバッド上院議員から、「トヨタ自動車がノースカロライナ州で行った建設の投資については、その規模が州内で過去最大であったものとして知られている。また、愛知県からノースカロライナ州には多くの投資が行われており、その効果は州全体に良い影響を与えている。」との発言がありました。

大村知事は、「さらにトヨタ自動車、デンソーを始めとした 19 社の愛知の企業がノースカロライナ州に投資を行っている。日本企業による 2023 年の対米投資額は、約 7,833 億ドルと 5 年連続で 1 位である。雇用創出数は 2 番目に多い。日米の経済関係は非常に良好なものであり、この良好な関係を継続していきたい。」と日米及び愛知県とノースカロライナ州の経済関係について話すとともに、「愛知県とノースカロライナ州との関係では、名古屋大学が州内の大学と提携しており、スタートアップやイノベーションの分野でも協力している。こうした日本とアメリカ、愛知県とノースカロライナ州の良好な関係をさらに強化していきたい。そのためにもバッド上院議員のご支援をお願いしたい。」と話しました。

さらに大村知事は、「日米同盟は世界で最も重要な二国間関係であり、アジア・太平洋の平和と安定、世界経済の繁栄にとって重要な関係である。バッド議員には引き続き日米関係の強化にご支援いただきたい。」と話しました。

これに対してバッド上院議員から、「日米関係はトランプ政権にとって第一の優先事項であると理解しており、ドナルド・トランプ大統領もマルコ・ルビオ国務長官も日米同盟の重要性にすでに言及している。また、関税はツールの一つであり、交渉を始めるための良い一歩になるのではないかと考えており、この関税が恒久的なものではな

いことを願っている。トランプ大統領は市場をフェアにして双方向の貿易をしなければいけないと考えている。フェアな環境での貿易が形になれば、日米の同盟関係もより強化される。」との発言がありました。

また、大村知事は、「これから日本とアメリカの経済関係の協議が行われるが、色々な課題を克服していくために協力して進めていきたい。日米関係をさらに強化するため、バッド上院議員のお力添えをお願いしたい。」と話すとともに、「バッド上院議員にはぜひ愛知にお越しいただきたい。その際には歓迎申し上げる。」と来県を呼び掛け、会談を締め括りました。



バッド上院議員との面談の様子



バッド上院議員と記念品交換

3 プレストン・ハウィ国内政策顧問（テッド・クルーズ上院議員補佐官）との面談

（1）日時

2025 年 4 月 8 日（火）午後 2 時 20 分から午後 2 時 50 分まで

（日本時間 4 月 9 日（水）午前 3 時 20 分から午前 3 時 50 分まで）

（2）場所

上院議員会館

（3）面談者

プレストン・ハウィ国内政策顧問

（テッド・クルーズ上院議員（テキサス州選出）補佐官）

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

（5）内容

大村知事は、テキサス州選出のクルーズ上院議員の補佐官であるハウィ国内政策顧問始めスタッフと面談しました。

大村知事は、「愛知県はテキサス州と 2016 年に『友好交流及び相互協力に関する覚書（MOU）』を締結して以来、交流を重ねてきており、昨年 7 月にテキサス州のグレッグ・アボット州知事が来日した際にそれまでの MOU をアップデートして、新たに相互協力声明に署名し、スタートアップ支援、医療、人材交流などの分野で交流を深める

こととした。テキサス大学オースティン校などとスタートアップ支援の連携事業に取り組んでいる。」と説明しました。

また、「愛知県からはトヨタグループを中心に、多くの企業が米国に進出しており、現在 490 社が米国各地で活発に事業活動を行っている。トヨタ自動車は米国で 65 年以上にわたりビジネスを行っており、トヨタグループ全体で 649 億ドル以上を投資し、テキサス州ではサンアントニオ工場への追加投資を決めている。日系企業の米国への投資は国別で 1 位、雇用創出数でも 2 位であり、テキサス州内では 8 万人を超える雇用を生み出している。」と説明しました。

さらに、「日本企業、トヨタ自動車を始めとする愛知県企業は米国に多くの投資を行うことで、雇用を創出し、米国経済に大きく貢献しており、今後もこうした企業の活動を支援し、愛知県とテキサス州、ひいては日米の経済関係をさらに強化していきたい。」と話しました。

そして、大村知事は、「日米同盟は、アジア・太平洋の平和と安定、世界経済の発展にとって不可欠である。クルーズ上院議員やスタッフの皆様の日米関係発展へのサポートをお願いしたい。」と話しました。

これに対して、ハウィ国内政策顧問は「安全保障、経済などの観点から日本は米国にとって最も重要なパートナーであり、日米同盟の重要性はよく理解している。同時に、米国はインド・太平洋地域に大きな課題を抱えており、このことについても日本抜きでは対応できないと考えている。」と話しました。

一方で、大村知事は「自動車及び自動車部品への 25% の追加関税により自動車産業が集積している愛知県や日米の経済関係に影響が出る恐れがある。今回の関税措置について日米間で協議が始まるが、より良い解決策が見出せることを期待しており、クルーズ上院議員のご支援をお願いしたい。」と話しました。

これに対してハウィ国内政策顧問は、「クルーズ上院議員は自由貿易を信じており、自由貿易こそがテキサス州にとっても必要なものであり、これまでも利益を受けてきた。数日前にはクルーズ上院議員自身がプレイノにあるトヨタ自動車の北米本社に行き、これまでの事業活動に感謝の気持ちを伝えた。」と話しました。

また、ハウィ国内政策顧問は、「クルーズ上院議員はホワイトハウスに対して、相互関税は理解できるが包括的に一律の関税をかけることは適切ではない、との考えを伝え、関税が下がり、自由貿易ができるように関与している。」と話しました。

大村知事は、クルーズ上院議員の活動に謝意を伝えるとともに、愛知県とテキサス州、日本と米国の関係強化に対する支援を重ねてお願いしました。



ハワイ国内政策顧問との面談の様子



出席者の皆さんとの記念撮影
(左から 3 人目がハワイ国内政策顧問)

4 ジャック・レイニク立法担当補佐官（アンディ・バー下院議員補佐官）との面談

(1) 日時

2025 年 4 月 8 日（火）午後 3 時 25 分から午後 3 時 50 分まで

（日本時間 4 月 9 日（水）午前 4 時 25 分から午前 4 時 50 分まで）

(2) 場所

下院議員会館

(3) 面談者

ジャック・レイニク立法担当補佐官

（アンディ・バー下院議員（ケンタッキー州選出）補佐官）

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、ケンタッキー州選出のバー下院議員の補佐官であるレイニク立法担当補佐官に対し、冒頭、先日ケンタッキー州において発生した豪雨及び暴風により、多くの被害者が出たことに対して哀悼の意を表するとともに、「1 日も早い復興をお祈り申し上げます。」と伝えました。

続けて大村知事は、「ケンタッキー州とは 2017 年に『友好交流及び相互協力に関する覚書（MOU）』を結び、連携を進めてきた。トヨタ自動車のケンタッキー工場が 1988 年に生産を開始し、今では年間 60 万台の生産能力を持つ世界最大の工場である。さらに、200 社以上のトヨタ関連企業がケンタッキー州に投資をしており、約 5 万人の雇用を生み出している。ケンタッキー州と愛知県企業との良好な関係を維持していきたい」と話した上で、24%の相互関税及び自動車と自動車部品の輸入に対する 25%の追加関税については、ケンタッキー州と愛知県企業及び日本との良好な関係に、大きな影響を及ぼす恐れがあると話した上で、「今後、日米政府間で関税措置に関する協議が開始される。より良い解決策が見つかるよう、我々も努力するため、バー下院議員からもサポートをお願いしたい。」と話しました。

これに対して、レイニク立法担当補佐官からは、「これから関税措置に対して協議をするに当たり、日本は最も優先順位が高い。バー下院議員もケンタッキー州と日本との関係は非常に重要であると認識しており、ホワイトハウスも同じような認識を持っている。我々もできる限りの支援をしたいと考えており、さらにはホワイトハウスや立法府に対して働きかけをしていきたい。」との発言がありました。

さらに、大村知事はトヨタを始めとした愛知県企業及び日本企業の米国経済に対する投資状況を説明した上で、「日米同盟は世界で最も重要な二国間関係であり、今後も良好な日米経済関係を発展させるために、バー下院議員から引き続きご支援をお願いしたい」と重ねてお願いしました。



レイニク立法担当補佐官との面談の様子



レイニク立法担当補佐官との記念撮影